

2023(令和5)年度 事業計画

1. 学会活動・運営の基盤強化

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

- (1) 会員増・若手研究者の拡充を図る。
- (2) 他事業団体との協働で学術研究・啓蒙活動・人材育成を推進する。
- (3) 事業・経費を見直して運営を効率化する。
- (4) 寄附金の積極的受け入れを図る。

2. 各種事業計画概要

(1) 会誌、学術刊行物の編集・発行

- ・ 会誌「ビタミン」の編集、審査等を厳正に行ない、年 11 回発行(1 月～12 月を 1 巻)する。
- ・ 公益社団法人日本栄養・食糧学会、FANS と共同編集して JNSV(英文誌)を年 6 回発行する。

(2) 年次大会、学術講演会

① 2023 年度第 75 回大会

会 期: 2023 年 6 月 17 日(土)～18 日(日)

会 場: 東北大学青葉山コモンズ

大会委員長: 白川 仁(東北大学大学院農学研究科 教授)

実行委員長: 仲川 清隆(東北大学大学院農学研究科 教授)

テ ー マ: 「ビタミン・バイオフィクターと研究者の想いを繋ぐ未来への架け橋」

主要プログラム

一般演題発表 94 演題

学会賞等受賞講演 5 演題

特別講演 1 演題

基調講演 1 演題

シンポジウム 10 演題

② 2023 年度市民公開講座

開 催 日: 2023 年 11 月 18 日(土)

会 場: 一橋講堂(東京都千代田区一ツ橋 2-1-2)

実行委員長: 影近 弘之(東京医科歯科大学教授)

テ ー マ: 「健康とビタミン」

講 演: 「次世代の健康に重要な葉酸のおはなし」

瀧本 秀美(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所
栄養疫学・食育研究部長)

「日本人とビタミン D」

越智 小枝(東京慈恵会医科大学 教授)

「免疫は栄養がつくる ―ビタミン類の働きを中心に―」

阿部 皓一(武蔵野大学薬学部 SSCI 研究所 分析センター長)

(3) 地区部会活動

- ・ 西日本での、持ち回りの地方大会を開催予定

(4) 他事業団体との協働事業

- ・ 支部活動の活性化の一環として、他の学会・支部との共催により研究発表会を開催する。
- ・ 日本栄養改善学会との共催事業
第70回日本栄養改善学会学術総会共催シンポジウム
開催日時: 2023年9月3日(日)14:40~(予定)
開催場所: 名古屋国際会議場
テーマ: 「私たちのビタミン摂取量は本当に足りているか?」
食事摂取基準 2025年版に期待すること(仮)」
シンポジスト: 津川 尚子(大阪樟蔭女子大学 教授)
栗原 晶子(大阪公立大学 教授)
福渡 努(滋賀県立大学 教授)
ディスカッション: 田中 清(神戸学院大学 教授)
コーディネーター: 池田 彩子(名古屋学芸大学 教授)

(5) 学術・広報活動

- ・ ホームページに掲載している「研究紹介」「Q&A コーナー」を充実させる。
- ・ シンボルマーク(ロゴマーク)の作成を行う。
- ・ 各種事業の案内・募集等を、ホームページに掲載する。
- ・ 他学会との連携を深め、広報活動を行う。

3. 研究の奨励及び研究業績の表彰

(1) 2023年度表彰授与式(2023年度総会時)

学会賞 2件、奨励賞 2件、企画・技術・活動賞 1件、功績者 3名

(2) 学生優秀発表賞

年次大会において、学生会員の一般演題発表者の中で優秀な発表を行った者に対して授与する。

(3) 若手海外優秀発表賞

国際学会等で優秀な発表をした若手研究者を顕彰する。対象は、2023年4月1日から2024年3月31日に開催された国際学会等である。

(4) トピックス貢献賞

学会誌 97巻において、会誌の充実及びビタミン学研究の進歩・発展のため貢献度の高いトピックスを投稿した研究者に対し賞を授ける。

4. 助成事業

(1) 国際学会への参加支援

以上